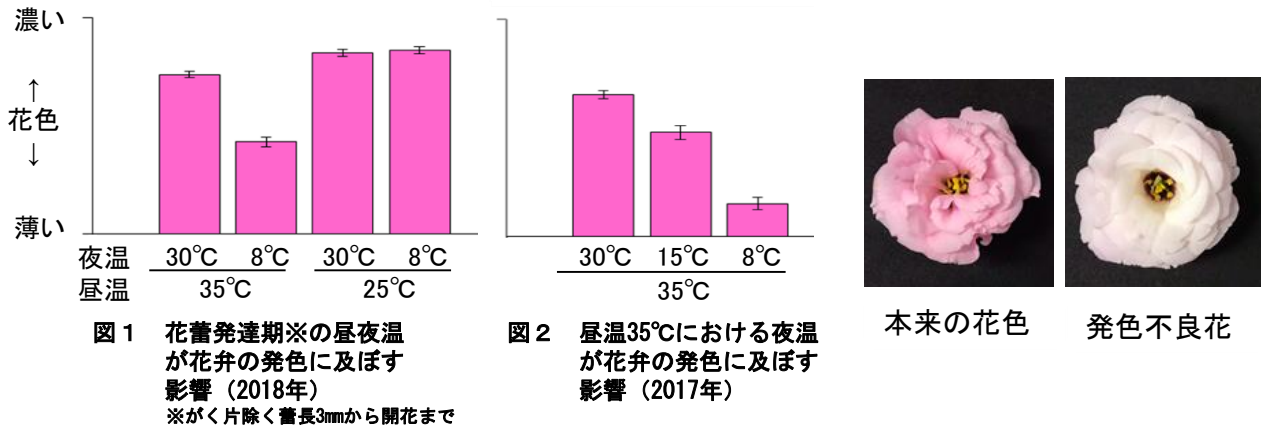


ピンク系トルコギキョウの 発色不良を軽減する温度管理法



問 研究のねらいは？

答 トルコギキョウのピンク系品種では、開花期が5月以降の作型で花卉の発色（赤味）が薄いものが見られます。そこで、花卉の発色不良を軽減する栽培管理の解明に取り組みました。

問 研究の結果は？

答 花卉の発色には花蕾発達期の温度が影響するため、

- ① 5月開花の作型では、花蕾発達期に相当する3～4月の温度管理が重要です。
- ② 花卉の発色は昼温35°Cでは夜温が高いと濃く、低いと薄くなり、昼温25°Cでは夜温の影響は小さくなります（図1）。
- ③ ハウス内の昼温が30°Cを超える時期は、夜温15°Cを目指した加温を行うことで花卉の発色不良を軽減できます（図2）。

問 品種で反応は異なりますか？

答 ・ 品種で発色不良の程度は異なります。
・ 高昼温かつ低夜温で発色不良が見られない品種もあります。